

参考となる予算監視・効率化チームの取組み

上期の各府省チームの活動につき、相互に参考となる取組みの例は以下の通り。

1. 職員に対する意識づけ

(1) 職員研修等

多くの府省で、予算監視・効率化等に関する研修や追加的な講義を実施している。

これら研修等には、階層・職務経験別に行うものや、新任管理職や新任予算執行担当者を対象とするもの、会計事務経験が概ね2年未満の係員を対象とするものなどがあつた。

このほか、例えば地方支分部局の会議において部課長クラスに取組みの説明を行う取組み(国土交通省)や、無駄学の専門家によるセミナー開催の取組みがあつた(文部科学省)。

(2) 職員からの改善提案受け付け

多くの府省において、予算執行の効率化等に関する改善策の提案を職員から受け付ける窓口を設け、周知することによって声の収集を図ろうとしている。また、改善提案だけでなく、明示的に、苦情や不正などを募集する取組みがあつた(経済産業省)。

(3) 人事(業績)評価項目への盛り込み

業績評価において、「コスト意識」や「効率的な施策執行の実現」を評価する項目として盛り込み、府省全体に浸透・推進しようとする取組みがあつた(厚生労働省、経済産業省)。

2. 外部有識者の参画を促進する環境づくり

チームによる事前審査等の実施に際し、外部有識者の的確な参画を促すべく、事前説明会(各課長等から事業の概要や問題点等に関する説明会)を積極的に開催しているものがあつた。(防衛省)。

3. 調達の見直し・改善

予算執行の効率化を実現する観点から調達方法の見直し、一者応札の改善、競争性のない随意契約の検証などの取組みがあつた(警察庁、財務省、農林水産省)。

また、チームによる事前審査に力点を置いて、仕様書の内容や入札の状況等にまで踏み込み、競争性を確保すべく入札条件緩和する等の対応により一者応札を改善しようと取り組んでいるところ(総務省)があつたほか、府省内の「入札等監視委員会」のメンバーをチームの一員として参画させ、総合的に取組もうとしているところもあつた(内閣府)。

4. 予算要求への反映(行政事業レビューシートの活用)

行政事業レビューシートを予算要求資料として活用したり、成果目標関連指標を独自に追加するなど工夫して、チームの取組みが、より確実に要求に反映出来るようにした取組みがあつた(外務省、経済産業省)。

5. 情報開示の充実

各府省とも予算執行計画に基づく開示の充実に努めているが、予算執行の情報開示について閲覧者の利便を図るため Excel データで公表している取組みがあった（法務省）

（注）「予算執行の情報開示充実に関する指針」（平成 22 年 3 月 31 日内閣官房国家戦略室）において、「数値データについては、特段の支障のない限り、PDF 形式ではなく、Excel 等、編集可能な形式で公開する」としている点に、各府省とも留意願いたい。

6. その他

- ・チームリーダーの指示により、予算の効率的執行を図るための課題を抽出のうえ改善検討を進めている取組みがあった（文部科学省）。

以上

（注）上記同様の取組みについて他の府省においても実施しているものがあると思われるが、相互に参考とする観点からあえて（例示的に）実施府省を付記した。